思索の旅で見えてきた大事なこと

山口ミルコさん『似合わない服』

「今がとても充実していて書くことが楽しくて仕方がないのです」。20年間、編集者として出版業界の第一線で活躍してきた山口ミルコさん＝写真＝（昭63文）。本をプロデュースする側から書く側になり、著述家という第二の人生を歩んでいる。

2009年、会社を退職の際、思いもかけない乳がんの告知があった。大病を経験して生じた疑問や葛藤、時代の潮流から離れて見えてきた大事なこと……。近著『似合わない服』（ミシマ社・本体1500円＋税）では、それらを思うままにつづっている。

「編み物がカタカタと自分の意思そっちのけで進められる。異常な細胞が美しい編目で編まれ、誇らしげに人間の体にまとわりつく」。がんをそんなふうに表現している。

「自分はなぜがんになったのか」。本編を貫く自問自答の数々。編集者時代、六本木にある自宅近くのファストフード店でゲラ（校正刷り）を見ながら朝食をとり、通勤は自家用ベンツで、という毎日だった。

当初は、発病の原因を会社時代の過食やストレス、バランスを欠いた時間やお金の使い方にあったのではと考えたが、もっと深いところに起因すると気が付く。「自分を見つめ切ることで答えが出ました」

デビュー作は壮絶な闘病の日々を著した『毛のない生活』（2012年）で、本編は3作目。著述業の傍ら、大学の非常勤講師として、マスコミを希望する学生に編集について教えることも。「勉強になります。私自身の見直しになりますから」

会社を辞めて故郷千葉に帰り生活が一変。幼なじみとの再会、家族の愛情、豊かな自然に癒やされた。「もうあの時代に戻ろうとは思いません」と、にこやかに話す山口さんだが、次回のテーマは「会社時代のこと」と決めている。思索の旅は続く。

専修人の新しい本

探偵太宰治

上野歩著

＜校友＞

太宰治で純文学を書き、黒木舜平の名で探偵小説を書く。そうやって二足のわらじを履くわけだ（本文）より）。削り屋、型屋、鳴物師といった〝意外性〟ある人物が主人公となるストーリーで人気の作家・上野歩さん（昭63文）が、今回はあの「太宰治」を探偵として登場させた。

主人公・津島修治（太宰治）は、行方不明事件を次々に解決する一方で、自分の中の何かを失っていく。そして周りの期待に応えたい気持ちと裏腹に、自らがあれこれと問題を起こしてしまう。まるで『人間失格』の主人公のようでもあるが、修治は心機一転、作家としての成功をもくろんで難事件を解決すべく動いていくのであった。

探偵小説でありながら、青春物語として本当の「人間・太宰治」の魅力も描いている異色作だ。井伏鱒二、檀一雄ら実在の有名作家との対話シーンもあり、太宰ファンや日本文学ファンにとっても楽しめる一冊になっている。

（文芸社文庫NEO・本体640円＋税）

公開講座情報

法学研究所「学生と市民のための公開講座」

「現場からの法律学・政治学」第2シリーズ（全3回）。各テーマに沿い、報告者と本学教員が論じ合う。

▽日時・テーマ・会場＝第1回・10月21日「日本の人道援助活動の現状と課題」571教室／第2回・11月25日「自治体における多文化共生の取り組み」204教室／第3回・12月9日「精神障害と犯罪」571教室。いずれも土曜日の14～16時、神田キャンパス※入場無料

問法学研究所事務局 E-mail：houken@isc.senshu-u.ac.jp☎03・3265・6888

大学院経済学研究科政策科学シンポジウム「働き方改革と日本経済」

▽日時＝10月30日（月）14時30分～18時▽会場＝神田キャンパス731教室▽基調講演＝山田久氏（日本総合研究所理事）▽パネルディスカッション＝安藤至大氏（日本大学総合科学研究所准教授）／宮本光晴経済学部教授／鈴木奈穂美経済学部准教授▽コーディネーター・司会＝櫻井宏二郎経済学部教授

※要申し込み。入場無料

問大学院事務課（生田）☎044・911・1271（神田）☎03・3265・6568

情報科学研究所公開講座

「コンピュータを使って工作を体験してみよう！」

▽日時＝11月4日（土）13～16時▽会場＝生田キャンパス9号館4階▽対象＝小学校高学年以上（小学生は保護者同伴）

※要申し込み（定員30人）。締め切り10月19日

問情報科学センター☎044・911・1237 E-mail：koukai-kouza@isc.senshu-u.ac.jp

大学院公開講座「経済学アラカルト―経済学で読み解く経済問題―」

▽日時・講師＝11月10日・湯元健治日本総合研究所副理事長（経済学研究科客員教授）／17日・内川秀二経済学部教授／24日・鈴木将覚経済学部教授／12月1日・中村吉明経済学部教授。いずれも金曜日の18時30分～20時▽会場＝神田キャンパス731教室

※要申し込み。入場無料

問大学院事務課（神田）☎03・3265・6568 E-mail：gkouza22@acc.senshu-u.ac.jp

多摩区・3大学連携協議会「多摩区3大学コンサート～水と緑と学びのまち～」

専大三曲研究会のほか日本女子大学、明治大学の音楽サークルが出演。

▽日時＝11月11日（土）14時～▽会場＝川崎市多摩市民館ホール

※入場無料

問多摩区役所企画課☎044・935・3147

第166回国際交流特別講演会「やさしい英語による経済学講座」

スティーブン・リム経済学部海外客員教授（ニュージーランド　ワイカト大学）による5回講演。

▽日時＝①11月11日②18日③25日④12月2日⑤9日。いずれも土曜日の10時～11時30分▽会場＝生田キャンパス教室未定

※要申し込み。入場無料。

問国際交流事務課☎044・911・1250 E-mail：iaffairs@acc.senshu-u.ac.jp

第20回自然科学研究所公開講演会「現地観測からわかること～地面から富士山頂まで～」

▽日時＝11月18日（土）13時30分～16時▽会場＝生田キャンパス2号館ラーニングスタジオ211

▽講師・演題＝赤坂郁美文学部准教授「身近な気候の変化」／土器屋由紀子氏（江戸川大学名誉教授）「雲の上でとらえる環境変化」※入場無料

問自然科学研究所☎044・911・0588

校友会からのお知らせ

2017年度春の叙勲

◇旭日中綬章

岡村泰明氏（昭42経済＝地方自治功労）

〈行政書士鳳会総会〉

▽10月18日（水）18時～▽JR市ケ谷駅から徒歩2分「アルカディア市ヶ谷」問中尾聡氏☎03・6811・1240

〈阿賀北支部総会〉

▽10月21日（土）18時～▽JR新発田駅から徒歩15分「金子屋別館」問中澤浩二氏☎090・2474・3123

〈東消おおとり会総会〉

▽10月27日（金）18時～▽神田キャンパス15階「報恩の間」問伊藤幸永氏☎090・1605・1477

〈広島支部総会〉

▽10月27日（金）18時30分～▽JR広島駅直結「ホテルグランヴィア広島」問井口幸路氏☎082・232・6315

〈九州連合会総会〉

（井口家具百貨店内）

▽10月28日（土）16時30分～▽福岡市地下鉄中州川端駅直結「ホテルオークラ福岡」問郷之原茂樹氏☎090・8393・4596

〈福岡支部総会〉

▽10月28日（土）17時30分～▽福岡市地下鉄中州川端駅直結「ホテルオークラ福岡」問原田雅宏氏☎090・6632・6156

〈城南支部総会〉

▽10月28日（土）13時～▽JR品川駅から徒歩2分「品川プリンスホテル」問宇治眞人氏☎090・7185・8212

〈中野支部総会〉

▽10月28日（土）17時～▽JR中野駅から徒歩3分「中野サンプラザ」問髙﨑孝夫氏☎090・4028・3222

〈フェニックスグリークラブ支部総会〉

▽11月4日（土）正午～▽東京メトロ大手町駅直結「経団連ホール」問長岡宏明氏☎090・2407・6934

〈珊瑚会総会〉

▽10月28日（土）17時30分～▽福岡市地下鉄中州川端駅直結「ホテルオークラ福岡」※18時から日髙義博理事長の講演問真鍋秀泰氏☎090・7466・8326

〈北九州支部総会〉

▽10月28日（土）17時30分～▽福岡市地下鉄中州川端駅直結「ホテルオークラ福岡」問原田雅宏氏☎090・6632・6156

〈城南支部総会〉

▽10月28日（土）13時～▽JR品川駅から徒歩2分「品川プリンスホテル」問宇治眞人氏☎090・7185・8212

〈中野支部総会〉

▽10月28日（土）17時～▽JR中野駅から徒歩3分「中野サンプラザ」問髙﨑孝夫氏☎090・4028・3222

〈フェニックスグリークラブ支部総会〉

▽11月4日（土）正午～▽東京メトロ大手町駅直結「経団連ホール」問長岡宏明氏☎090・2407・6934

〈珊瑚会総会〉

▽11月4日（土）正午～▽生田キャンパス「グリーントップ」問住田信治氏☎090・4520・7708

〈新宿支部総会〉

▽11月7日（火）18時30分～▽JR新宿駅から徒歩1分「橙家」問下村治行氏☎090・6169・4543

〈37会総会〉

▽11月10日（金）15時～▽神田キャンパス15階「報恩の間」問荒井勇三郎氏☎090・2621・7719

〈中越支部黒門会総会〉

▽11月11日（土）15時～▽JR長岡駅から徒歩10分「料亭かも川別館」問貝瀬健氏☎080・6554・6764

〈江東支部総会〉

▽11月11日（土）18時～▽東京メトロ東陽町駅から徒歩7分「ホテルイースト21東京」問坂口文哉氏☎090・1437・9780

〈静岡県支部連合会総会〉

▽11月11日（土）11時～▽JR静岡駅から徒歩5分「クーポール会館」※10時から馳浩氏の講演問大村和芳氏☎055・948・6599

〈山梨県支部総会〉

▽11月11日（土）18時～▽JR甲府駅から車10分「甲府富士屋ホテル」問宮坂孝一氏☎090・3006・2969

アドニス81号刊行

校友会誌「アドニス」81号の主な内容▽校友会創立130周年記念式典および校友会定時総会2017▽「われら専修人」筑波銀行取締役会長の植木誠さん（昭52商）、キッコーマン総合病院看護部長の長坂奎英さん（平9法）▽「体育会監督インタビュー」陸上競技部の長谷川淳監督（平19経済）。

募金局からのお願い

専修大学は2019年に創立140年を迎えます。また、石巻専修大学も18年に創立30年を迎えます。学校法人専修大学では、さらなる飛躍と発展を期すため「専修大学創立140年・石巻専修大学創立30年記念事業募金」（募集期間5年間）を設け、広く募集を行っております。

皆様方の温かいご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

お申し込み、お問い合わせは「専修大学募金局」（☎03・3265・3157）へお願い申し上げます。

緑地帯

ツバメの子育て

生田キャンパス9号館1階の正面玄関は、スクールバスの発着所にもなっているので、毎日多くの学生と教職員が利用しています。その右端には図書館荷物の搬入スペースがありますが、この場所でツバメが毎年子育てをします。

ツバメは人の出入りの多い場所に巣作りをするようです。これは、カラスや猫などの外敵から身を守るために、人間をガードマンの代わりに利用しているからだとも言われています。実際、9号館でツバメが巣作りをする場所のすぐ横には守衛室があり、守衛さんが24時間365日、キャンパスの安全を確保しています。またツバメが巣作りをしているのは防犯カメラの上なのです。賢いツバメは、キャンパス内で最も安全な場所を見つけて、子育てをしているんですね?!

防犯カメラの上の巣は高い位置にあるため、中の雛を下から観察することが難しかったです。でもこれ以外の2つのつがいは巣を低い位置に作ったため、子育ての様子を間近で観察できました。2つの巣では雛が餌をねだる愛くるしい様子がつぶさに観察でき、癒やされました。親ツバメの方は天井の低い荷物搬入スペース内でアクロバット飛行を披露してくれました。小さな雛が巣から落ちたことがありましたが、雛の成長を見守っていた心優しい職員の方が、気がついてすぐに巣に戻したところ、元気に成長してくれました。

ツバメは渡り鳥で、9月中旬から10月下旬の頃、南の暖かい台湾や豪州へと旅立ちます。「ツバメが巣をかける家は栄える」とも言われます。来年の春にツバメたちが戻ってくることを心待ちにしています。（学生部）